

## 林業普及週間現地情報 (5/27 ~ 6/2)

森林管理課

### 現地適応化事業（ホウビカンジュ）の栽培試験

令和元年5月31日(金)に、森林資源研究センター（名護市）内の林間において、山菜（ホウビカンジュ）の施肥効果及び収量試験を実施するための調査地設定作業を森林資源研究センター研究員と林業普及指導員で行った。

ホウビカンジュについては、「宮古ゼンマイ」としても知られ流通・消費されているが、林間での自生株からの採取に限られており、安定的な生産が困難である。

前年度までの林間内での栽培試験において、一定程度の施肥効果があることが分かっているが、データ数が少なく施肥効果が明確となっていないため、今年度はプランターでの施肥種類・量を変えての施肥効果の再検証を行う。また併せて、林床内に生育しているホウビカンジュにおいて施肥種類・量別での新芽（食用箇所）の収量に違いがあるかについても調査を行う。

試験栽培とデータの収集を重ね、栽培方法の早期確立と安定的な生産体制の構築ができるよう引き続きがんばっていききたい。



(プランターでの施肥試験)



(林床ホウビカンジュの葉茎数確認)



(林内試験地様子)



(↑新芽の食用箇所)  
(←ホウビカンジュ匍匐茎)

(報告者：森林管理課 佐喜眞)